

看護 しずおか



KANGO SHIZUOKA

Vol.5
平成22年度

会員数…………… 17,749名
保健師…………… 532名
助産師…………… 686名
看護師…………… 15,362名
准看護師…………… 1,169名
(平成22年12月21日現在)

「爪きり事件」裁判が教えてくれたこと
看護教育～看護カリキュラムの変遷～



風船おにいさんと遊ぼう



社団法人 静岡県看護協会



ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>

静岡県看護協会

検索

繋いでいくこと、広げていくこと

会 長 佐藤 登美

あけまして、おめでとうございます。静岡県看護協会の会員の皆さまには、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年（平成22年）も、社会情勢は決して穏やかならず、騒然としながら混迷的に推移し、不安定で先の見通しがつかないままの1年だったように思います。

そんななかでもお陰様で、22年度の協会活動は順調に進められてきました。

たとえば、第2回目の「脳卒中リハビリテーション看護」（認定看護師教育課程）は全国から28名（県内13名）の受講生を迎え、全員無事11月には終講しました。認定看護管理者サードレベルは日本看護協会に教育機関の申請をし、認可を受け、直ちに開設。また、公益法人化の準備においても、プロジェクト会議が中心となり、日本看護協会より「都道府県看護協会モデル定款」が12月中旬に提示されましたので、それに沿って、これまでのところ予定どおりに進めてきております。また、平成23年度からは協会が行う全ての事業計画を、いわゆる新・新会計基準（20年度基準ともいいます）で予算立てを行いました。この内容は、平成23年度当初収支予算書（案）となって、来る2月の第58回通常総会でご審議をいただく予定です。

この他に、この総会では、平成23年度の基本方針（重点事項）や公益法人化の準備、中でも看護職が今後さらに地域社会との連携を深めながら、住民が求めるような公益活動を推進していくことなどについてもご審議いただく予定です。さらに、職能委員会の機能強化、特に看護師は、協会会員の約9割を占めながら、これまで一つの委員会で対応してきましたが、日本看護協会主催の全国法人会ならびに全国看護師職能委員会の決定により、23年度からは2つの委員会（「病院看護師職能委員会」と「施設・在宅看護師職能委員会」）に構成され、これを機会に職能委員会活動の見直しと活性化が必要になりました。ご賛同を得て、前進していきたいと考えていますが、そのためには、何よりも先に、会員の皆さまのより一層の理解と強い共通認識づくりが必要です。よろしくお願い致します。

職能委員会の活動と言えば、昨年暮れ、保健師職能委員会が中心になって、保健師としての職能の充実化を図るために、平成21年の保・助・看法の一部改正に遵守するべく教育課程（大学院化）の要望書を作成し、県及び県立大学へ提出致しました。こういう活動が、三職能のいずれにおいても、今後さらに増えていくことを期待しています。

もう一つ、一昨年から取り組み始めた地区支部の基盤づくりが、一歩前進しました。副会長や参与、また東部地区の支部長を始め会員の方々の努力が実って、先行モデルとしての活動拠点である事務所が開設致しました。開所式では、地域住民を代表して町内会の組長さんなどのご出席を戴きました。これからは、住民のニーズに積極的に応えていくような催しなどを手掛けていって欲しいと思います。平成23年度は、このモデル地区の活動を評価しながら、他の支部の拠点づくりを進めたいと考えています。

ともあれ、こうした諸活動は、繋いでいくこと・広げていくことが、最も重要だと考えています。今年も、みんなで見守りとエネルギーを出し合い、頑張っていきましょう。

平成22年12月27日 記

平成22年度 第3回理事会報告

●開催日時 平成22年12月21日(火)
15:30～17:15

●場 所 静岡県看護協会 第1会議室

【出席者】佐藤会長・落合副会長・赤池副会長・松井専務理事・小長井常務理事・松田常務理事
平井理事・池ヶ谷理事・山口理事・宇賀神理事・前田理事・吉村理事・上島理事・高倉理事・小野理事
佐藤理事・平賀理事・豊島理事・宮地監事・望月監事・戸塚監事・水元事務局長・坂元ナースセンター所長
【欠席者】濱松理事

I 協議事項 下記はいずれも承認された

- (1) 社団法人静岡県看護協会細則の一部改正(案)について
- (2) 社団法人静岡県看護協会指定在宅介護支援事業所運営規程の一部改正(案)について
- (3) 社団法人静岡県看護協会倫理委員会規程の制定(案)について
- (4) 第58回通常総会提出議案について
 - ①議案第1号 平成23年度スローガン(案)
 - ②議案第2号 平成23年度事業計画(案)
 - ③議案第3号 平成23年度当初収支予算書(案)
 - ④議案第4号 平成22年度補正収支予算書(案)
 - ⑤平成23・24年度 静岡県看護協会役員・委員選挙候補者名簿(案)
- (5) その他

II 報告事項

- (1) 入会申込者の承認について
- (2) 平成23年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について
- (3) 平成22年度秋の叙勲受賞者について
- (4) 東部地区支部事務所開設報告について
- (5) 研修「糖尿病看護」が2つの機関より適切な研修として認定
- (6) その他 「ケアする人のケア～くつろぎのツボシリーズ(2)～」開催について

「爪きり事件」裁判が教えてくれたこと

上田看護師は2007年、入院していた認知症の女性患者2名の足の爪を半分以上剥離(はくり)させるなどし、約10日間のけがを負わせたとして逮捕、起訴された。

2009年の1審で懲役6月、執行猶予3年の有罪判決となった。その後の控訴裁判では、爪を「剥いだ」など、行為と合わない表現が自白調書に多用されていると指摘、自白調書の信用性を否定した。その上で爪の処置について、「必要性のある看護行為で、手段も相当だった」と認定し無罪となった。

「北九州爪ケア事件判決後のセッション」に参加して

静岡県看護協会副会長 赤池静江

「無罪」に安堵しましたが、真相が解らず気になっていた時、本事件に関する看護職賠償責任保険制度主催の特別講演会へ参加する機会を得ました。上田さん本人が参加したセッションから実感した課題を3点お伝えします。1点目は、日常的に行っている看護ケアについて、改めて説明する事の難しさです。「爪きり」を療養上の世話という法的な範疇として捉えても、「立証」という点で想像を超えた困難さがあったことが解りました。上田さんは、看護実践力として積み重ねた爪きりケアを実践してきましたが、異動して日の浅い職場では共有したケアではありませんでした。2点目は看護チームや医療チームと連携し、ケアを共有する事と内容を記録する事です。看護業務において、記録に費やす多くの時間は課題ですが「何が必要な記録か」について改めて考える必要があります。3点目は、患者・家族関係の中で、日常看護を共有できるシステムを機能させることです。この他にも、この事件は日常ケアと共に、現場の様々な問題を提起しています。看護(ケア)のあり方として、同僚の有する優れた看護実践力を生かし合う職場のあり方もその一つだと考えます。

最後に、看護師上田さんの真摯な姿は「今後も患者のために愛情と熱意を持ち、技術を高め、看護に取り組んでほしい。」と結ばれた特別講演の言葉と重なり、感銘を受けました。

看護教育 ～看護カリキュラムの変遷～

私たち看護師は、時代のニーズを受けながら患者様に日々良い看護を提供しようと教育を受けてきました。受けた教育の違いにより、看護の現場ではギャップが生じていることをよく耳にします。いつの時代でも教育についての関心は高いのではないのでしょうか。

広報委員会では、来年度より「看護教育」についてシリーズ化していく予定です。それに先駆けて、今回は各年代の看護カリキュラムの変遷をお届けします。自身の教育が、どの年代かを振り返り、職場の人と話してみてもいいかもしれません。

当時の白衣を着ながら私、看子がお届けいたします。



昭和26年
(1951)

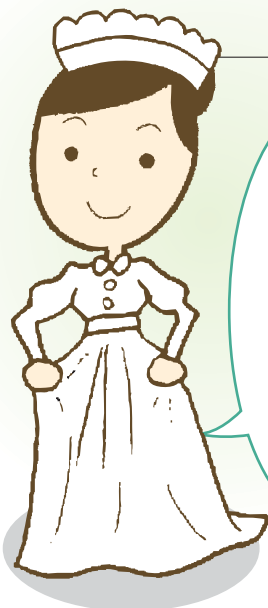
指定規則
制定

今日の看護の基礎が 作られた時代

医学モデルを中心とした教育が主でした。

「保健婦、助産婦、看護婦法」ができたのも

この時代です。



大正時代頃は、このような
ロングドレスタイプでした。

昭和42年
(1967)

看護教育
カリキュラム
第一次改正

需要の増大に伴う 看護職員の不足時代

成長発達モデル、疾患別の看護を中心に

学びました。この時代に演習・実習が学校で

行われるようになりました。



昭和時代・後半頃は
ナースシユーズと
ナースキャップが
一般的なスタイルでした。

平成元年
(1989)

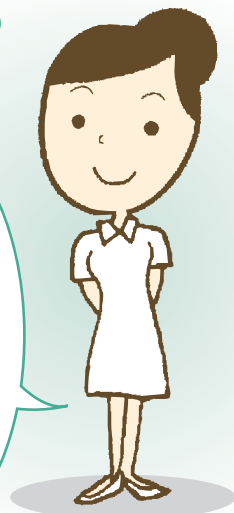
第二次
カリキュラム
改正

看護の活動の場と役割の拡大時代①

「ゆとり教育」が導入されて、学校の授業時間と
臨床実習時間が少なくなりました。

この時代、高齢者が増えたため
「老年看護学」が新設されました。

平成時代に入り
ナースキャップがすがたを
消しはじめたのも
この時期です。



平成10年頃より
パンツタイプの
白衣が主流になりました。



平成8年
(1996)

第三次
カリキュラム
改正

看護の活動の場と 役割の拡大時代②

学校では「時間」から「単位」制へかわりました。

在宅医療が推進されたため、「在宅看護論」が新設、

「老年看護学」の実習が増えました。精神患者が増え、

「精神科看護学」が成人看護学から独立しました。

平成20年
(2008)

新カリキュラム
改正

多様なニーズに対応する時代へ

単位数をふやし、教育内容の充実をはかりつつ、
学生さんがリアリティショックを少なくするために、

「看護実践能力の強化」をしていきます。

そのために実践に近いように、

「夜間の実習」や「複数の受け持ち患者」を

もつような総合実習が増えました。

最近では
アメリカ風の白衣が
はやりはじめています。



「私の出会った看護師」エピソード 入選者発表

最優秀賞

服部 静子様
(三島市)

優秀賞

岩田 秀之様 (御殿場市)
山田 健弘様 (静岡市)

佳作

ペンネーム 恵美ママ様 (静岡市)
梶原 しおみ様 (浜松市)
藤田 ことゑ様 (磐田市)



『糖尿病看護－重症化予防のためのフットケア』研修

教育研修部 栗原すみ代

平成22年12月6・7・8日の3日間で開催し、48名が受講修了した『糖尿病看護－重症化予防のためのフットケア』研修は、糖尿病合併症管理料算定のための「適切な研修」、また「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として静岡県看護協会が申請し、初めて認定されたものです。

前半は糖尿病専門医や慢性疾患看護専門看護師の講義、後半は10名の糖尿病看護認定看護師と糖尿病療養指導士による白熱の事例検討や実技指導で、充実した研修となりました。



爪のケア：丁寧なデモンストレーションで、わかりやすかった



患者・看護師役になって足の観察・アセスメントの演習場面



『看護職員実習指導者等講習会』の運営

講習会運営委員 村本早苗

本講習会は、「看護職員の臨床教育の充実に必要な知識、技術、態度を習得し、人間尊重の理念に基づき、主体的に行動できる看護指導者の育成を目指す」ことを目的に、静岡県の受託事業として、40日間（240時間）で開講し、今年度は83名受講されました。

運営委員会は看護教員、臨床看護師の8名で構成され、講習会の計画立案、受講生募集、講師や演習のコーディネーター選任・依頼、講習会運営および評価などを行っています。

本講習会の存在意義は、受講者が現場に戻り、講習会の学びを活かして次世代の看護師を育て、そして育てられた看護師が次世代を育てていく、ということだと考えています。

次年度は、これまでの講習会を評価して実績報告書を作成し、講習会の充実に繋げます。



「討議法」でのグループワーク



「人間関係論」の講義

ナースセンターだより

今年度の新人研修(新卒1年以内)はすべて終了しました。

今年度から施設内での新人看護職員研修が努力義務化されました。このような背景の中、静岡県ナースセンターが実施しているこの研修に多くの施設の皆様からとてもたくさんの御協力をいただき、大変感謝しております。4コースを東部・中部・西部地域でそれぞれ実施し、参加した新人の延べ人数は359人でした。

新人研修 研修名			参加人数	計	日 数	講師・指導者派遣施設等		
Ⅰ	注射・輸液ポンプ・多重課題等 講義と演習	第1回	30人	60人	2日間	菊川市立総合病院	静岡市立清水病院	市立湖西病院
		第2回	30人		2日間	市立島田市民病院	静岡がんセンター	蒲原総合病院
Ⅱ	急変時の看護	中 部	24人	73人	各1日	沼津市立病院		
		東 部	27人			袋井市立袋井市民病院		
		西 部	22人			焼津市立総合病院		
Ⅲ	フィジカルアセスメント	中 部	18人	58人	各1日	藤枝市立総合病院		
		西 部	20人			静岡県立総合病院		
		東 部	20人			沼津市立病院		
Ⅳ	コミュニケーション技術	中 部	54人	168人	各1日	東京女子医科大学看護学部		
		東 部	62人			山内典子 氏		
		西 部	52人					

4コースすべて参加した新人もいます。演習を取り入れた研修は大変好評でした。体験することで達成感や自信を得、また職場ではなかなか聞けないことも指導者のアドバイスで解決できたようです。そして何より新人同士の悩みを共有し語り合う機会も得て、自身の気持ちの整理ができ、明日からまた頑張れる力をもらったと思われます。

今年度4月からの新卒看護師の悩み相談は今までになく多く、内10人がすでに退職しました。要因の多くは先輩の指導が厳しかったり、自分に自信が持てなかったり、でした。新人の時期は生活環境も人間関係も含めて、自分の居場所に大きな変化が起こります。医療現場は日々問題が発生し大変厳しい現状は重々痛いほど良くわかりますが、こと新人に対しては、できるだけ“ポコアーポコ(徐々に)”で関わっていただけたらと願います。



コミュニケーションスキルの研修
みなさん楽しく沢山語り合いました。



フィジカルアセスメントの研修
心音・呼吸音など聴き分けるポイントは？

人を育てるには「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」(山本五十六)

今年度最後です “再就業準備講習会”

開催日: 平成23年2月2日(水)～4日(金) 静岡県看護協会会館会場
次年度の開講は5月末か6月になります。4月から復帰を考えるなら今がチャンス!

病院・訪問看護ステーション派遣型研修

実習することで職場の雰囲気や、活き活きと勤務している看護職の方から自信と勇気をもらい、一步前進できる手ごたえをつかむことができます。前年度以上の方がこの研修に参加し職場復帰をしています。2月の再就業準備講習会後は受講希望が増えます。早めにナースセンターに御相談ください。

静岡県ナースセンター
問い合わせ先

【本所】TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

【東部支所】TEL/FAX 055-920-2088 【西部支所】TEL/FAX 053-454-4335

職場や学校の悩みごと相談は

054-202-1780

第58回通常総会・映画上映会開催のお知らせ

本会発展のために、皆様から自由闊達なご意見を賜りたいと存じます。

日時(日程) 平成23年2月24日(木) 9時30分受付開始

場 所 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ中ホール・大地

内 容 ●平成23・24年度 静岡県看護協会役員・委員選挙があります。
●平成23年度スローガン・事業計画・当初収支予算・補正収支予算について審議します。
●提出する議案は平成22年度12月21日開催の理事会において承認されました。
●映画『育子からの手紙』上映会(午後2時30分から4時15分まで)も行います。一般県民の参加も募集します(詳細はホームページで)。

そ の 他 ①本総会は平成22年度会員が対象です。
②出席者は出席報告を、欠席予定者は委任状の提出をお願いします(同封の文書をご覧ください)。

今日は、あなたがケアされる日です。心と身体をリフレッシュしましょう。
「ケアする人のケア くつろぎのツボ」シリーズ(2)

日時(日程) 平成23年2月26日(土) 10時～15時

場 所 静岡県看護協会会館

対 象 一般県民(介護者等)、看護職(会員、会員外)、介護職員等

内 容 講演「若さと健康は姿勢から」、コンサート、介護講談、リラクゼーション、健康相談、測定等

※申込は不要 直接会場へどうぞ

※問い合わせ 静岡県看護協会事業部 054-202-1770

看護協会東部地区支部事務所の使用について

10月1日に開所した東部地区支部事務所を利用できるようになりました。詳細については看護協会のホームページをご覧ください。

医療・安全情報 第⑤弾

皆様 こんにちは 社会経済福祉委員会です。

社会経済福祉委員会では、会員の社会経済福祉の向上を目的とし看護職の離職防止・マンパワー確保や医療安全等に取り組む事を活動目標としています。

“安全は名前から” 患者と医療者の協同によるフルネーム確認

【現状】患者誤認を確実に防ぐためには、「医療者が患者にフルネームをたずね、患者がフルネームを言って患者確認をする」ことが有用であることは、既に広く知られています。しかし、まだ医療者は、何度も名前を尋ねると患者が嫌がるなどの理由でそれを行わないために、患者確認が確実に行われず、患者誤認が発生しています。

推奨する活動

- ①患者確認が必要なすべての場面において、医療者は患者に挨拶をして名前を聞き、患者本人(あるいは患者家族)にフルネームを言ってもらって、確実に確認をする。
- ②これを病院のルールとして、医療者と患者の双方がその意識を共有して実行できるようにする。
- ③ポスターやリーフレットを活用して患者・医療者双方に啓発活動を行う。
- ④できれば、さらにチャレンジしたいこと
 - ・同姓同名対策としてフルネームと合わせて生年月日を言ってもらう
 - ・地域の人々に積極的にPRして周知を図る



【受診される患者さんへ】

診察室へ入りましたら、
医師にお名前をお伝えください。

～労働環境に関する講演会が11月30日に開催されました～

浅見社会保険労務士事務所 所長 浅見 浩先生を招いて、職場管理の視点から「働きやすい職場づくり」に関するご講演を頂き、午後は「講義や資料を参考に自己の職場環境の改善点を見出す」をテーマにグループワークを行い、好評のうちに開催することができました。



ご支援ありがとうございます

・賛助会員…14(法人・団体)

医療法人社団千鳥会 御殿場かいせい病院・東洋羽毛東海販売(株) 静岡営業所・(株)静岡新聞社・静岡放送(株)・(株)ガリバー静岡店
医療法人社団駿甲会 コミュニティケア高草・(株)京都科学 東京支店・医療法人社団駿甲会 コミュニティケア吉田・SMC商事(株)名古屋支店
財団法人 静岡健康管理センター・ナーシングホーム あしたば・(株)トータル保険サービス 横浜支社・公立森町病院・協和医科器械(株)

・賛助会員…2(個人)